

真庭市議会議員 長尾 修 様

## 平成 30 年度 真庭市議会報告会・市民と語る会実施報告書

報告者(班長)

柿本 健




開催日時	平成 30 年 5 月 16 日 (水) 19:00~21:25		
開催学区名	天津小学校区		
会場名	天津老人いこいの家		
出席議員	班長 : 柿本 健治 副班長 : 福井 荘助 班員 : 妹尾 智之 原 秀樹 庄司 史郎 柴田 正志		
参加人数	14 人 (うち議員 6 人)		
発言の種類	発言の内容	会場での対応	備考
質問	市道認定されて補修工事を待ってもしてくれない道路がある。また要望書を提出しないとイケないのか?	再度提出が必要である。執行部より丁寧な説明があるので再提出をお願いします。問い合わせ箇所により説明が違う事実があるようで、統一した対応をするように伝える。	
質問	財政調整基金を積んでいるが、現在要望のある道路補修のために基金を崩すことを何故行わないのか?	委員会の中で予算確保を強く要望している。地方交付税の減額が 40 億円と見込んでの基金であったが、削減が 15 億程度におさまったこともあり、概ね 130 億円からの基金となっている。地方交付税の元は人口であり、人口減少が予想されるなかで地方交付税が減る可能性があり必要な予算措置と考える。	
質問	辺地債、過疎債を利用し、何故もっと使い必要な市道などの工事をしないのか?	毎年限度いっぱい使っている。	
質問	介護保険料の用途は? 保険料が上がり今後への不安を感じる	施設介護給付・在宅介護への給付などへ使用している。3 年ごとに見直す・・・7 期目がはじまる。H30 年 約 56 億、31 年 57 億、32 年 59 億・・・3 年で 172 億を予想しそこから介護保険料を算出している。そして積立基金で過不足を調整する・・・と算出方法の説明。	
要望	社協の移送サービス・・・チケットを使ったサービスでチケットをもらいにいかないといけない。とても不便である	移送サービスは民業圧迫になるので公共交通会議で議論が必要。委員会で協議をする。	

質 問	議員定数の削減を・・・津山市は 3,600 人、真庭市は市民 2,000 人に 1 人である。	総務省の自治体決算書では真庭市の予算の中の議会費は 24 人の議員がいても 0.7%である。県内では（岡山・倉敷の予算規模の大きな市をのぞくと）もっとも少ない。828 キロ平方メートルと特別に大きな面積の真庭市であることを考慮しないとイケない。	
質 問	移送サービスの個人ボランティアの事故処理は	ボランティア保険での対応、個人での対応となる。	
要 望	市議会改革・・・質問→答弁→質問・・・であっさりした質問が多い	持ち時間の関係もある。課題として持ち時間を伸ばすよう要望する。	
要 望	サイクリングロードについて・・・危険な箇所へガードパイプをつけて欲しい	サイクリングロードは車も走る。ガードパイプの設置は要望している。安全性の確保につとめないとイケない。	
質 問	総務委員会の視察に行かれて災害の少ない真庭でどのように伝え進めて行こうと思われたのか	視察趣旨について説明。	
質 問	PC のホームページの改善を・・・	随分見やすく進歩していると思っているが、意見は、執行部に伝える。	執行部に伝える。
質 問	危険な空き家の処理後の税の問題	空き家を壊すと固定資産税が高くなることも空き家放置の原因となっている。	
質 問	道路の危険性や緊急性の判断を誰がするのか？住民の不安を解消するためにも予算の見直しを期待する	まずは振興局へ要望、振興局で判断し、建設課へ・・・という流れの説明をする。	
意見	子育て支援・教育が大切である。真庭市の支援策は、病児保育や、預かり保育など充実しているが、親の自覚などが不十分ではないかとの意見	現場の職員への意見を伝えることを約した。	執行部に伝える。

真庭市議会議員 長尾 修 様

## 平成 30 年度 真庭市議会報告会・市民と語る会実施報告書

報告者(班長) 柿本 健治 

開催日時	平成 30 年 5 月 17 日 (木) 19:00~21:00		
開催学区名	美甘小学校区		
会場名	美甘振興局		
出席議員	班長: 柿本 健治 副班長: 福井 荘助 班員: 妹尾 智之 原 秀樹 庄司 史郎 柴田 正志		
参加人数	28 人 (うち議員 6 人)		
発言の種類	発言の内容	会場での対応	備考
質問	「三谷線」の市道について・・・ ①陳情を出しているのに今だ何もしてくれない ②職員が来て今年が出来ないと回答。要望書を出してと言わなかった。	委員会で陳情は採決した新しい基準で取り組む、要望書は再度提出が必要。 予算付けの出来ないものは全て出して欲しいとの事を説明。	
質問	美甘には 8 つのコミュニティーがある。市道の草刈り 20 円/m <sup>2</sup> 、業者委託は 200~300 円/m <sup>2</sup> ・・・不公平ではないか、業者の半分くらいは出して欲しい。	地域での草刈りの経費支給の増額は要望している。	
質問	山の作業道路の補助金が 5 月初めですでになくなっていく	担当課で確認する、委員会にて協議する。	
質問	支えあいディサービス、市はボランティアに頼りすぎ、なんらかの支援がある。今は非常に少ない。	いわれるとおり、体制が出来るまでは行政の支援がある。	
要望	生活支援コーディネーターは、委託で大丈夫か?	現在の取り組み状況を説明。	
質問	空き家にサル・イノシシ・狸が・・・対策を田舎からやって欲しい	今年度空き家調査に本格的に取り組む、空き家条例もつくられると思う。早急な対策を求める声を届ける。	
質問	地域づくり事業の補助金が下がっている	多くの議員がこの件に関しては質問している現状を説明。	



真庭市議会議員 長尾 修 様

## 平成30年度 真庭市議会報告会・市民と語る会実施報告書

報告者(班長) 柿本 健治 

開催日時	平成30年5月18日(金) 19:00 ~20:00		
開催学区名	檜邑小学校区		
会場名	檜邑小学校体育館		
出席議員	班長: 柿本 健治 副班長: 福井 荘助 班員: 妹尾 智之 原 秀樹 庄司 史郎 柴田 正志		
参加人数	18人(うち議員6人)		
発言の種類	発言の内容	会場での対応	備考
質問	地域づくり委員会の補助金が減って困っている。217,000円から127,000円へなった・・・ どういう認識なのか?	経緯を説明。	
質問	議員の皆さんは地域づくり委員会として活動されたことがあるのか?	制度上議員は、地域づくり委員になる事が出来ないことを説明。	
意見	都会の人は良く歩く、都会より田舎の方が糖尿病が多いようで糖尿病内科があるので驚いた、糖尿病対策として歩くことを進めるようなことを考えて欲しい、・・・健康であると医療費の削減になるではないか	本人の自覚の問題である。	
要望	自転車に乗れる環境整備として自転車置き場を作って欲しい	公共施設には自転車置き場はあると思う真庭市自転車置き場の現状を説明。	
意見	議会の活性化・・・市長に丸め込まれている、深く突っ込んで、市長に負けないで	議会での議員の質問の持ち時間を説明し議運に時間を増やすことを要望する。	
質問	川になぜ魚が少ないのか?原因は融雪剤?除草剤?・・・虫も少ない	実態把握をする必要がある。調査しないと判らない。	
質問	バイオマス事業・木材関係事業・・・補助金が入っているが本当にもうかっているのか?	バイオマス発電のことを説明(補助金が入っておらず、利益と効果の説明)。森林関係補助金について説明。	
要望	空き家対策の具体化はどのように考えられるのか? 移住者の状況について情報発信を行うべきではないか	今年度空き家調査の予算がつき調査が始まる。これから本格的な協議が始まる。	
要望	有害鳥獣駆除防除について・・・フェンス等の補助対象が2戸以上でないといけないのは実情に合わない	制度の内容について質問者に報告。	

要 望	大規模災害が予想されている折、田舎の良さが必要とされてくると思うが国等へしっかり第一次産業の重視を建議して欲しい	意見として伺った。	
要 望	土砂災害特別区域・・・指定されると家が建てられない、他の地域に家を建てると利息の補助として300万円がある・・・ひとつの部落がなくなってもいいのか？	土地が大切か？命が大切か？という問題である。	
要 望	①地元のみつまたを生かした取り組みについて・・・ ②和紙を生かした取り組みをして欲しい	HK商会で化粧品が販売されており、今後も使用品開発を支援したい。	
要 望	中鉄バスの車庫・事務所移転問題で、移設の場合地元協議を行ってほしい。	行政側に伝える事を説明する。	